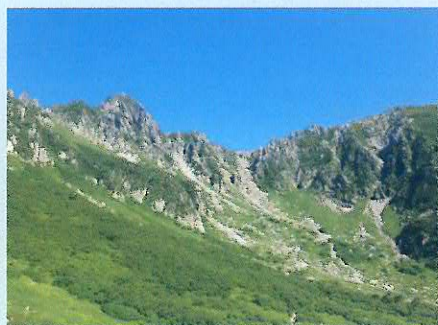


フリーデアから季節ごとにお届けする『住まいのお手入れ便り』です



フリーデア便り

～2015夏号～



今年の夏は、特に暑いですね。

涼しさを求めて高山に行ってみるのはいかがでしょうか？

長野県の『木曽駒ヶ岳』は、バスとロープウェイで2,600mの千畳敷カール(写真)まで登ることができ気軽にアルプス気分を味わえます。一般的に気温は、標高が100m上るごとに0.6度下がると言われていますので、麓より15度位涼しく、色とりどりの高山植物も楽しめます。

住まいの お手入れ便り

夏の『暑さ対策』について

節電にも!!

●日差しのカット

昔ながらの日本の民家は夏の暮らしに重きを置いて建築されていました。

軒の出が大きかったため夏の日差しがしっかり遮られていました。しかし現代の日本の

住まいではなかなかそのようなスペースを取ることが出来ません。

家の中の熱の出入りでもっとも大きいのは『窓』で、全体の約70%です。

効果の高い暑さ対策は、窓からの日差しのカットや断熱性の強化なのです。

日差しのカットは窓の内側で行うより外側で行うのがより効果的です。

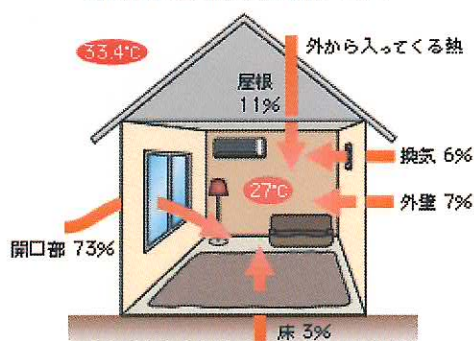
室内にブラインドを付けても6割の熱は室内に入ってきてしまいますが、**室外に付けると約9割の熱をカット**することが出来ます。

昔ながらの『よしず』や『すだれ』はとても理にかなったものなのですね。

『すだれ』『よしず』にできる空気層は熱を通しにくいので、室内に熱がこもりません。

霧吹きなどで水をかけると風が冷やされ天然のクーラーになり涼しさも倍増します。

■夏の冷房時(昼)に
開口部から熱が入る割合 73%



最近では緑が美しい『グリーンカーテン』。

外壁に取付ける『オーニング』、『ひさし』など
リフォームでできる暑さ対策もあります。

冬には日差しが必要になりますが、きちんと
取りこめる工夫のある商品になっています。

また**遮熱タイプ**の2重窓や**ガラスの交換**は

夏だけでなく**冬の寒さ対策**にも有効です。

普通ガラスと 遮熱高断熱ガラスの違い

しかも、冬場の断熱効果は高断熱複層ガラス
と同等以上だから、一年中快適に。

■遮熱高断熱 Low-E ガラスの日射侵入率比較 ガラス厚 3mm、空気層 12mm



※[算出条件]当社計算値(光学性能とJIS R3107ベースで算出)(単板ガラスに対しての割合)

お住まいの暑さ対策や収納のお悩みなど住宅に関することならフリーデア桃田雅恵までお問い合わせください。

フリーダイヤル：0120-81-3305 まで

一般建築士事務所
フリーデア
リフォームの

＜発行元＞

〒350-1106 川越市小室560-1 株式会社フリーデア一級建築士事務所

視覚情報の80%は色の情報と言われ 私たちは様々な色に囲まれて暮らしています。
色をうまく使ってより心地いい暮らしを手に入れたらいいかなと思います。

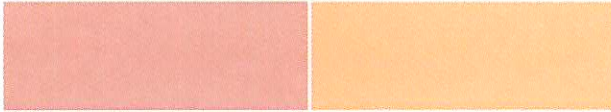
Q. 色は心にどんな影響をあたえるの？



人には、色を見た時に『興奮する色』と『沈静する色』があります。

暖色系(赤・オレンジなど)で高彩度な色は興奮感を与え、寒色系の色(青など)は沈静感を与えます。

【暖色系】



【寒色系】



① 暑さや寒さ



暖色系の色は実際の温度よりも暖かく感じ、寒色系の色は実際の温度より冷たく感じるという性質があります。

実験によると、赤い部屋と、青い部屋の心理的温度差は約3度といわれています。

この感覚を利用して夏と冬のカーテンを替えるだけでも冷暖房器具への負担も軽くなります。

② 時間の流れ

色は時間の流れを早く感じさせたり、遅く感じさせたりする効果もあります。

例えば、赤い部屋と青い部屋では、感じる時間の流れが違います。

『時間の流れを遅くする』には寒色系の壁が有効です。(鎮静作用)

実験によると「寒色系の環境は1時間を40分程度にしか感じられなくする。」といったデータが出たそうです。

勉強部屋やオフィスなど、集中して物事を取り組みたいときには、最適な環境です。

また銀行や病院の待合室に寒色系の色が使われることが多いのもそのためです。

『時間の流れを早くする』には暖色系の壁が有効です。

「20分しか経っていないけど、30分経った感じがする。」というほど、時間の流れを早く感じさせたりします。ファーストフード店などで使われています。これは食欲を増進させ、購入意欲を増進させつつ、お客様の回転率を上げようとする狙いもあるようです。

③ 重さ



明るく鮮やかな色ほど軽く、暗くにぎった色ほど重い感じを与えます。

一般的に黒が一番重く感じ、白が一番軽く感じるとされています。

実験で黒と白のまったく同じ大きさで同じ形の箱を用意して、実際に持ってもらくと、白が100グラムに対して、黒は187グラムに感じるという違いが出たそうです。

この原理を利用したものに、宅配便のダンボールを白にしたら、効率がよくなったり、工場での作業が早くなっただけでなく、疲れも半減したという事実もあるそうです。

Point

お部屋のインテリアを考える時に色の特色を考慮すると暮らし方が変わります。

ゆっくり休みたい寝室は寒色系のクロス、暖かみを感じたい北側の部屋には暖色系のクロスがおすすめです。

好きな色が赤やオレンジなどの暖色系の場合には、全体に使うと部屋が狭く見えたり、興奮色のため疲れやすくなったりする可能性がありますので、全体ではなくアクセントに使うといいと思います。

バスルームにオススメの色は、暖色系でも寒色系でもありません。暖色系を使うと夏は暑く感じ、寒色系を使うと冬寒々しく感じてしまうためです。バスルームにおすすめなのは中間色系です。



自然ややすらぎをイメージさせるグリーンもリラックスできます。まずはカーテンなどで気軽な模様替えはいかがでしょう。



インテリアのイメージアップしたい!!など、お気軽にフリーデアまでご相談ください。

